



委員会視察を市政に活かす

～市民生活に深く関わる課題についての調査研究を行いました～

総務委員会

視察日 令和8年1月28日(水)～30日(金)

視察地 神奈川県横須賀市・愛知県豊田市・兵庫県神戸市

視察目的 「自治体業務における生成AIの活用について」の調査研究を進めるため、横須賀市、豊田市、神戸市の先進的事例を視察する。

調査概要 **横須賀市**：人口減少を見据え、ChatGPTをどう活用していくかについて、役所内での活用事例・利用者傾向・普及方法、市民向けの活用事例などについて確認した。生成AIを先駆的に取り入れ、内容の見直し・刷新を日々行うことで、より有用性の高い活用がされていることがわかった。
豊田市：人工衛星とAIによる水道管の健康診断について、課題や対策、効果について確認した。また、デジタル強靱化戦略における生成AIを含めた活用事例、DX人材育成などについて確認した。所管課の提案を伴走型支援によって実現しており、大きな成果につながっていると感じた。
神戸市：全国に先駆けてAI条例、利用ガイドラインなどの整備を行い、職員も市民も安心して活用できる仕組みづくりに努めていることを確認した。試行段階からアイデアやナレッジの蓄積、課題検証を丁寧に行い、実効性のある活用モデルを確立してきていると感じた。

横須賀市



豊田市



神戸市



建設環境委員会

視察日 令和8年2月2日(月)

視察地 市内農地

視察目的 「稲城市の農業の振興について（仮称）稲城市農業振興基本条例の策定に向けて」の調査研究を進めるため、市内農地を視察する。

調査概要 **南山地区(野菜栽培)**：自前の水源がなく、他所から水を運搬して対応をされていた。また、カラスやアライグマなどによる鳥獣被害の発生に苦慮しているとのことであった。区画整理事業が進む中、新たな環境下での農地継続の難しさを改めて確認した。
矢野口地区(梨栽培)：最新技術により、従来と比べ短期間で収穫ができる梨栽培を視察した。足元の防草シートを施工することで、作業の安全性の向上や移動の効率化を図っていた。生産性の向上や効率化は、後継者不足に悩む農家にとって極めて重要な取り組みであると感じた。
東長沼地区(農業体験農園)：地域の土を活かした農産物づくりが楽しめる体験農地であり、種子や苗の他、農具や資材等は農園に準備され、園主からの手厚い指導も受けられる。また、収穫祭や交流会などの様々なイベントも開催されるとのことであった。農業者同士や市民とのコミュニティ形成の場としての役割も大きいと感じ、地域の農業の核となる農業の姿を視察することができた。

南山地区(野菜栽培)



矢野口地区(梨栽培)



東長沼地区(農業体験農園)

